

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 双胎間輸血症候群 Stage I に対し胎児鏡下レーザー手術を施行した児の短期予後および予後因子を明らかにする後方視的コホート研究』

研究機関名 東邦大学医療センター 大森 病院

研究責任者 産婦人 科 職位・氏名 教授・中田雅彦

【研究の目的】

東邦大学医療センター 大森 病院 産婦人 科では、胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術(FLP)を施行した TTTS Stage I 症例における、児の短期予後および予後因子を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、双胎間輸血症候群の妊婦さんの管理方針の改善や周産期医学の発展につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2002年1月～2021年12月までに東邦大学医療センター 大森 病院

産婦人 科において、TTTS Stage I の診断で FLP の治療を受け、出生した児(死産児を含む)

方 法：診療録から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：母体情報(母体年齢、妊娠分娩歴、不妊治療の有無、母体合併症)、周術期に関する情報(診断時妊娠週数、手術時妊娠週数、手術前48時間以内の超音波検査情報：胎児推定体重、最大羊水深度、胎児血流、胎盤位置、子宮頸管長など)、妊娠経過中の情報、分娩時情報、児の予後(生後28日)

【外部への試料・情報の提供】

電子データとして提出された診療録の情報を、あなたの個人情報が分からないように管理します。

【研究組織】

代表施設名：大阪医療母子センター 研究代表医師：石井桂介 役職：主任部長

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター 大森 病院 産婦人 科

職位・氏名 教授・中田雅彦

電話 03-3762-4151 内線 6675